

抄読会

Burden of Narcolepsy

博士課程4年 鎌田悠太/ Yuta Kamada

概要

ナルコレプシー当事者への公的支援に関する議論に役立つようなエビデンスを創出するべく本研究を進めてきた。その研究成果を国際学会で発表し、国際雑誌に掲載された¹⁾。さらには当事者との直接のコミュニケーションを通じて研究の結果を共有した。今回の発表では、本研究の着想から結果の報告・当事者への還元までの研究サイクル全体を共有し、今後の博士論文の内容について議論した。

Reference

1. Kamada, Y., Imanishi, A., Chiu, S.W., and Yamaguchi, T. Burden of narcolepsy in Japan: A health claims database study evaluating direct medical costs and comorbidities. *Sleep Med*, 2024; 114: 119-127. DOI: <https://doi.org/10.1016/j.sleep.2023.12.020>

以上